

盛岡市立生出小学校の閉校について

令和5年2月9日
教育委員会

1 趣旨

児童数が減少している盛岡市立生出小学校について、「盛岡市小中学校適正配置基本計画」に基づき、児童のより良い教育環境を確保するため、複式学級の解消について保護者及び地域住民と協議してきたところである。

今般、令和6年度末での閉校について合意形成が図られ、令和5年1月10日付けで、生出1自治会長、生出2自治会長、生出3自治会長及び生出小学校PTA会長の連名により、「盛岡市立生出小学校の閉校に関する要望書」の提出があったので、報告するものである。

2 要望書について

(1) 主な内容

- ア 生出小学校について、令和7年3月まで存続させること。
- イ 生出小学校の児童については、生出小学校閉校後は、渋民小学校に通学させること。
- ウ 閉校事業に係る補助金の交付

(2) 要望書

別紙のとおり。

3 経過

- (1) 平成25年9月から令和4年10月まで、保護者及び地域住民を対象に説明会等を開催し、意見交換や協議を行った。
- (2) 令和5年1月10日付けで、生出1自治会長、生出2自治会長、生出3自治会長及び生出小学校PTA会長の連名で、「盛岡市立生出小学校の閉校に関する要望書」の提出があった。
- (3) 令和5年1月25日開催の教育委員会定例会及び2月1日開催の玉山地域振興会議で、要望書の提出について報告を行った。

4 今後の予定

- 令和5年2月 保護者及び地域住民に対する閉校説明会の開催
- 令和5～6年度 生出小学校と渋民小学校との交流事業、統廃合調整（スクールバス等）
- 令和6年9月 玉山地域振興会議に諮問
- 10月 教育委員会定例会に付議
- 12月 盛岡市立学校に関する条例の一部改正の議案を市議会定例会に提案
- 令和7年3月 生出小学校閉校式
- 4月 渋民小学校と統合

5 児童数の推移

年度	R2	R3	R4	R5（見込）	R6（見込）
児童数	38人	36人	31人	25人	21人
学級数 （通常級）	4 （うち複式2）	3 （うち複式3）	3 （うち複式3）	3 （うち複式3）	3 （うち複式3）

（各年5月1日現在。R5以降は令和5年1月現在。R7児童数は14名の見込み。）

令和 5 年 1 月 10 日

盛岡市長
谷 藤 裕 明 様

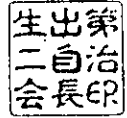
生出 1

自治会長 岩 崎 隆



生出 2

自治会長 佐 藤 幹 男



生出 3

自治会長 岩 崎 孝 一



盛岡市立生出小学校 PTA

会 長 四 日 市 幸 師



盛岡市立生出小学校の閉校に関する要望書

盛岡市立生出小学校は、昭和 24 年の開校以来、73 年余りの間、地域に密着した小学校として、小規模校のよさを活かしながら、様々な成果を上げて参りました。しかしながら、生出地区においては、少子化が極めて顕著であり、今後さらに児童数が減少する見込みであります。

今般、盛岡市教育委員会の説明を受け、児童にとってよりよい教育環境はどうあればよいかについて、保護者及び地域住民の総意として「閉校」もやむなしという結論に至り、下記のとおり要望事項をまとめました。

尚、閉校に当たりまして、盛岡市に検討していただきたい事項を、別紙に掲げましたので、閉校事業に係る補助金の交付と併せて、よろしく御検討くださいますようお願い申し上げます。

記

- 一 生出小学校について、令和 7 年 3 月まで存続させること
- 一 生出小学校の児童については、生出小学校閉校後は、渋民小学校に通学させること



(別紙)

盛岡市立生出小学校閉校に係る検討依頼事項

一 統合のスムーズな移行について

本校児童の渋民小学校への学校生活・学習の移行がスムーズに進むように、合同学習や行事等での交流について、御配慮をお願い致します。

一 児童の通学手段の確保について

生出小学校の閉校に伴い、渋民小学校への通学手段（スクールバス）を確保するとともに、安全かつ安心な運行についても、十分な配慮をお願い致します。

一 生出小学校施設の活用について

閉校後の生出小学校の校舎について、地域住民が利用できる施設として有効活用を図るように、御配慮をお願い致します。

一 その他

統合を進める際に生じる様々な面について、御指導、御支援、御配慮をお願い致します。